

<令和元年度杉並区在宅医療推進フォーラム>

今日から始める終活

医療
ノコト

人は、いつか、どこかで、人生の最期を迎えます。

人生の最期を望みどおりに迎えるために、どのような準備が必要になるでしょうか…

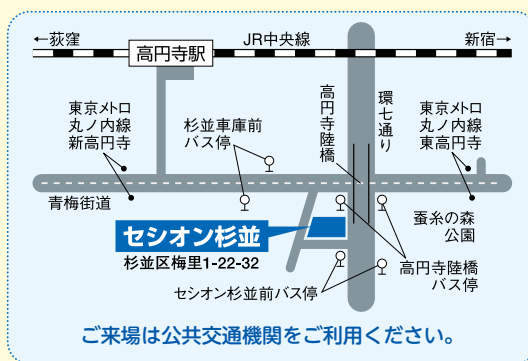
杉並区は皆様とともに考えていきます。



【日時】令和2年1月12日(日)

午後0時30分～5時

【会場】セシオン杉並〈ホール・展示室〉
杉並区梅里1-22-32



ご来場は公共交通機関をご利用ください。

基調講演 ホール・午後1時30分～3時 (開場：午後0時30分)

「なんとめでたいご臨終」



【講師】医療法人聖徳会小笠原内科・
岐阜在宅ケアクリニック
理事長 兼 院長

小笠原文雄氏

プロフィール

1948年岐阜県生まれ。名古屋大学医学部卒業。89年に岐阜市内に小笠原内科を開院。以来、在宅看取りを1,500人以上、ひとり暮らしの看取りを80人以上経験。がんの在宅看取り率95%を実践しています。

著書に『なんとめでたいご臨終』、共著に『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりで家で死ぬますか?』他、教科書などの執筆など多数。その他『新聞』『テレビ』『ラジオ』『web』など数多くのメディアで取り上げられています。

日本在宅ホスピス協会会長。名古屋大学全学同窓会岐阜支部長。名古屋大学医学部特任准教授。岐阜大学医学部客員教授。

シンポジウム ホール・午後3時15分～4時15分

「最期の医療 あなたならどうしますか？」

「在宅で最期を迎えるにはどうすればいいの?」「救急車を呼ぶとどうなるの?」
など、最期の医療を話し合います。

どなたでも
お越しいただけます。

定員：550名

入場無料

申込不要 (先着順)

【手話通訳あり】



シンポジウム 「最期の医療 あなたならどうしますか？」 登壇者紹介



【コーディネーター】
がん・ソリューションズ
株式会社代表

桜井 なおみ氏

プロフィール

自らのがん経験を生かした雇用機会の創出や相談事業に
取り組み、がんでも働きやすい社会の実現をめざす。



【シンポジスト】
杉並区医師会
おぎくぼ正クリニック院長

阿部 正氏

プロフィール

脳神経外科医として急性期の手術や管理に携わった経験
をいかし、より良い在宅医療を目指して日々取り組んで
いる。



【シンポジスト】
慶應義塾大学医学部
公衆衛生学教室講師/
コミュニティヘルス研究機構
機構長・理事長

山岸 暁美氏

プロフィール

日赤医療センターおよび豪州パースにて病棟勤務、帰国
後、訪問看護・ケアマネジメントに従事。2009年～厚労
省入省、診療・介護報酬同時改定、医療計画指針策定等に
携わる。2016年より現職。

【シンポジスト】
東京消防庁救急部

「心肺蘇生を実施しないこと (DNAR)」の意思表示に対す
る救急医療対応の検討を行う東京消防庁、東京都の現状
と課題はいかに…。



展示ブース 展示室・午後0時30分～5時

- フレイルチェック
- 介護福祉機器
- ケアグッズなどの展示
- 関連団体のブース など



講演の前後にお立ち寄りください。

在宅医療相談調整窓口

在宅医療をサポートするため、相談員が区民の皆様や医療・介護関係者の皆様からの在宅医療に関する
様々な相談に応じます。

【電話番号】03-3391-1380

【受付日時】月～金曜日 (祝日・年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時

問合せ先：杉並区在宅医療・生活支援センター ☎03-5335-7317

<主催>杉並区 <共催>杉並区医師会・杉並区歯科医師会・杉並区薬剤師会